

鳥取縣公報

第九百八十一號

昭和十三年十一月十八日

金曜日

縣令

◆鳥取縣令第五十六號

大正十二年縣令第五十六號知事ノ管掌ニ係ル恩給ノ給與細則中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

第二條中「內務部」ヲ「總務部」ニ改ム

第二條ノ二 恩給倉庫ニ證書ヲ擔保ニ供シ又ハ寄託シタルトキハ其ノ期間中前條ノ手續ヲ要セス

◆鳥取縣令第五十七號

昭和八年六月鳥取縣令第十八號穀物検査規則中左ノ通改正シ昭和十三年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

第四條及第十二條中「穀物検査所出張所」ヲ「農産物検査所出張所」ニ第五條及第三十條中「穀物検査所長」ヲ「農産物検査所長」ニ第十一條、第十五條、第十六條、第二十條、第二十二條、第三

十一條及第三十四條中「穀物検査吏員」ヲ「農産物検査吏員」ニ第十二條中「穀物検査派出所」ヲ「農産物検査派出所」ニ改ム

鳥取縣令第五十八號

昭和十二年三月鳥取縣令第六號穀物検査規則中左ノ通改正シ昭和十三年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

第三條中「穀物検査所長」ヲ「農産物検査所長」ニ第八條中「穀物検査出張所又ハ穀物検査派出所」ヲ「農産物検査派出所出張所又ハ農産物検査派出所」ニ第三條、第十條及第十一條中「穀物検査吏員」ヲ「農産物検査吏員」ニ改ム

鳥取縣令第五十九號

干甘諸検査規則左ノ通定ム

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰
干 甘 諸 檢 査 規 則

第一條 本則ニ於テ干甘諸ト稱スルハ甘諸ノ生切干ヲ謂フ

第二條 本縣内ニ於テ生産セラレタル干甘諸ヲ本縣外ニ移出セントスル者ハ本則ニ依リ之ガ検査ヲ受クベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラズ
一 第七條ノ重量ニ滿タザルモノ

二 學術研究又ハ試験ノ用ニ供スルモノ

三 博覽會、共進會又ハ品評會等ニ出品スルモノ

四 徵發又ハ強制執行ノ目的物タルモノ及國有ニ屬スルモノ

五 特別ノ事由ニ依リ検査ノ免除ヲ受ケタルモノ

本縣外ヨリ移入セラレタル干甘諸ト雖モ本縣外ニ於テ生産セラレタルコトヲ確認シ難キモノハ之ヲ本縣内ニ於テ生産セラレタルモノト看做ス

第三條 本縣外ニ移出セザル干甘諸ト雖モ希望スル者アルトキハ本則ニ依リ之ガ検査ヲ行フ

第四條 検査ハ農産物検査吏員之ヲ行フ但シ農産物検査吏員ト雖モ自己ノ利害ニ直接關係アル干甘諸ノ検査ハ之ヲ行フコトヲ得ズ

第五條 検査ハ農産物検査所長ニ於テ關係者ノ希望ヲ斟酌シ指定シタル場所ニ於テ之ヲ行フ但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 検査ハ干甘諸ノ品質、乾燥、調製、形狀、重量及包装ニ付之ヲ行ヒ其ノ品位ニ依リ一等、二等、三等及等外ニ區分ス

前項ノ検査等級ノ標準ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 検査ヲ受クル干甘諸ノ一包裝ノ重量ハ正味三〇斤(八貫)ト爲スベシ

第八條 検査ヲ受クル干甘諸ノ包裝ハ左ノ各號ニ依リ一重儀裝ト爲スベシ

一 菰ハ能ク乾燥セル古藁ヲ用ヒ、編方ハ小繩ヲ以テ封間各一八浬(約六寸)兩端ノ長サ各一五浬(約五寸)トシ四箇所ヲ密ニ編ミ房數五十五手編トシ長サ約一、一五米(約三尺八寸)重量一、九斤乃至二、三斤(約五百匁乃至六百匁)ト爲スコト

二 棧儀ハ能ク乾燥セル古藁ヲ用ヒ直徑三〇浬(約一尺)重量二箇ニテ五六〇瓦乃至七五〇瓦(約百五十匁乃至二百匁)ト爲スコト

三 繩ハ打柔ゲタル藁ヲ以テ絢ヒ周リ三浬乃至三、六浬(約一寸乃至一寸二分)ノ太繩ト爲スコト

四 荷造ハ俵ノ小口ニ外側ヨリ棧俵ヲ充テ小口膝ヲ目通シ八箇所トシ千鳥掛ト爲シ横繩ハ五箇所ヲ各二廻リ緊括シ縦繩ハ一筋ニテ四方掛トシ兩端ハ横繩ニ掛戻シ小口ニ於テ引締メ男結ト爲スコト

第九條 特別ノ事由ニ依リ前二條ノ規程ニ依リ難キ場合ハ知事ノ許可ヲ受ケ特別ノ重量又ハ包裝ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、干甘諸ノ數量、一包裝ノ重量及包裝方法ヲ具シ知事ニ申請スベシ

第十條 検査ヲ受クル干甘諸ニハ其ノ包装ニ左ノ票箋ヲ結付クベシ

票 箋 (雛形)

縣	郡	町	村
受檢者			
昭和	年	月	日
正味量	斤 (貫)		
皆掛重量	斤 (貫)		
昭和	年	月	日
検査			

用紙 強靱ナル白模造紙

長 一〇、五糎(約三寸五分)

幅 四、五糎(約一寸五分)

第十一條 検査ヲ受ケントスル者ハ別ニ定ムル規定ニ依リ検査手数料ヲ納付スベシ

第十二條 検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ數量、検査希望月日、検査場所及仕向地ヲ記載シタル干甘諸検査申請書ヲ最寄ノ農産物検査所出張所ニ提出スベシ

第十三條 検査申請者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會シ農産物検査吏員ノ指示ニ從フベシ

前項ノ指示ニ從ハザルトキハ其ノ検査ヲ中止スルコトアルベシ

第十四條 農産物検査吏員検査ヲ行フニ當リ第七條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ適合セザルモノアルトキハ其ノ検査ヲ中止ス

前項ノ規定ニ依リ検査ヲ中止シタルトキハ其ノ日ヨリ起算シ十日以内ニ不備ノ點ヲ正シテ検査ヲ受クルニ非ザレバ其ノ干甘諸ニ付既ニ爲シタル検査申請ハ效力ヲ失フモノトス

第十五條 検査ヲ行ヒタル干甘諸ニハ其ノ検査等級ニ應ジ包装ノ縦繩結止ニ左ノ封緘紙ヲ卷キ付ケ之ニ検査證印ヲ以テ封印ヲ爲シ票箋ニ検査年月日及検査等級ヲ記入シテ検査證印ヲ押捺ス

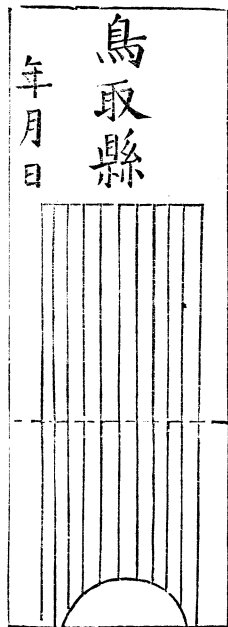
検査證印 (雛形)



長徑 二糎 短徑 一糎 肉色紫

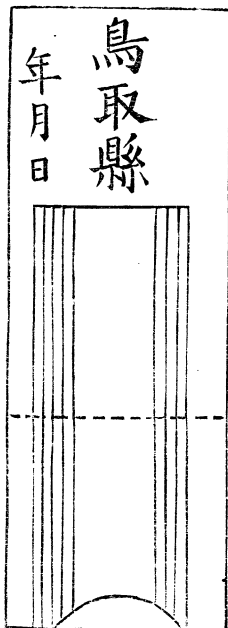
封緘紙 (雛形) 長一五糎 幅三糎 刷色青

一 等



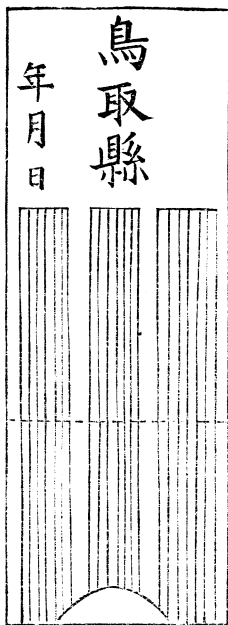
幅一、五糎縦線一本

二 等



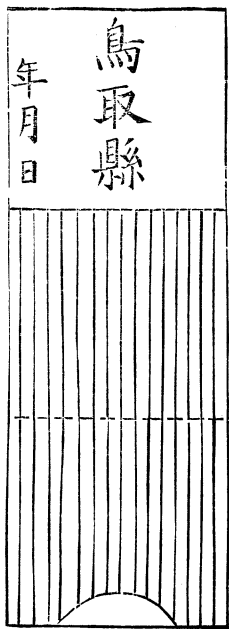
幅〇、七五糎ノ縦線二本

三 等



幅〇、四糎ノ縦線三本

等 外



全部色刷

第十六條 検査申請者ニシテ検査等級ノ決定ニ對シ異議アルトキハ其ノ検査ノ終了シタル日ヨリ起算シ十日以内ニ再検査ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ検査ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、干甘諸ノ數量、所在地及前検査月日ヲ記載シタル再検査申請書ヲ農産物検査所長ニ提出スベシ

第十七條 検査済ノ干甘諸ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ更ニ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ本縣外ニ移出スルコトヲ得ズ

一 包装ヲ毀損シ又ハ改装シタルモノ

二 封緘紙又ハ票箋ヲ毀損若ハ亡失シタルモノ

三 検査後腐敗、變質若ハ減量シ又ハ著シク虫害若ハ鼠害ヲ受ケタルモノ

四 検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ二十日ヲ經過シタルモノ

第十八條 農産物検査吏員必稟アリト認ムルトキハ検査済ノ干甘諸ニ對シ再検査ヲ行フコトヲ得

第十九條 第二條第一項第五號ノ検査ノ免除ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由、數量、用途及仕向先ヲ

具シタル書面ヲ以テ農産物検査所長ニ申請スベシ
検査ノ免除ヲ受ケタル者ハ當該干甘諸ノ包裝ニ其ノ數量、用途、受渡當事者ノ住所氏名及年月
日ヲ記載シタル荷札ヲ附シ第十四條ニ定ムル検査證印ノ押捺ヲ受クベシ

第二十條 検査濟ノ干甘諸ヲ解裝シタルトキハ其ノ封緘紙及票箋ヲ破棄スベシ
第二十一條 検査濟ノ干甘諸ヲ降雨雪中ニ運搬シ又ハ濕氣ノ多キ場所ニ置クトキハ防濕ニ必要ナル
設備ヲ爲スベシ

第二十二條 農産物検査吏員又ハ警察官吏本則ニ違反ノ事實アリト認ムルトキハ干甘諸ノ運搬停止
若ハ保管ヲ命ジ又ハ關係資料ノ提出ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ命令ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十三條 本則ノ適用ニ因リ生ジタル損害ハ縣ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼズ
本則ニ依ル検査施行ノ爲必要ナル干甘諸ノ積替、運搬、計畫、解裝及改裝ノ費用ハ検査申請者
ノ負擔トス

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項、第十七條、第十八條第二項、第十九條第二項、第二十條、第二十一條又ハ
第二十二條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二、検査ヲ受クルニ當リ又ハ検査ヲ免ルル爲不正ノ行爲ヲ爲シタル者
三 検査濟ノ干甘諸ニ生産年度若ハ品位ノ異ルモノヲ混ジ又ハ故意ニ濕氣ヲ施シ又ハ減量シタ
ル者

四 検査濟ノ干甘諸ノ封緘紙又ハ票箋ヲ濫ニ除去シ、取換へ又ハ變造シタル者

第二十五條 本則ニ依ル義務者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本

則ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ
第二十六條 本則ノ規定ニ違反シタル者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役
其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之
ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同等ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
附 則

本令ハ昭和十三年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

鳥取縣令第六十號

干甘諸検査手数料規則左ノ通定ム

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰
干 甘 諸 檢 査 手 數 料 規 則

第一條 干甘諸検査規則(以下單ニ規則ト稱ス)

第十一條 検査手数料左ノ如シ

干甘諸一包裝ニ付 金壹錢五厘

第二條 規則第十八條ノ再検査ニ付テハ検査手数料ハ徵收セズ

規則第十六條ニ依ル再検査ノ検査手数料ハ検査等級ノ決定ガ前検査ト異リタルトキハ之ガ納付
ヲ免除ス

第三條 規則第十四條第二項ニ該當スルモノノ既納手数料ハ之ヲ還付セズ

第四條 干甘諸検査手数料ハ規則第十二條ノ干甘諸検査申請書ニ穀物検査手数料規則第四條及第六
條乃至第九條ニ規定スル鳥取縣穀物検査手数料納收證票ヲ貼付シテ之ヲ納付スベシ

附 則
本令ハ昭和十三年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

告 示

鳥取縣告示第六百八十三號

昭和十三年十一月十日縣參事會ノ議決ニ係ル昭和十三年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算並同年度特別會計自作農創設維持獎勵資金歲入歲出更正豫算ノ要領左ノ通

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

昭和十三年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算

△印減高

第十三款 雜 收 入 部	三、六一五圓
第六項 物品 賣 拂 代	二、二〇五
第八項 過 年 度 收 入	一、四一〇
歲 入 經 常 部 計	三、六一五
臨 時 部 計	三、五三七圓
第一項 綠 越 金	三、五三七圓
第一項 前 年 度 綠 越 金	三、五三七圓

第二款 國 庫 補 助 金	△一八七、八六二
第一項 統 計 費 補 助 金	二〇〇
第五項 勸 業 費 補 助 金	△一八八、〇六二
第三款 寄 附 金 助 金	一、四四六
第三項 勸 業 費 寄 附 金	△一、四四六
第九款 縣 債	△六、〇〇〇
第一項 縣 債	△六、〇〇〇
歲 入 臨 時 部 計	△一九一、七七一
歲 入 合 計	△一八八、一五六

第三款 縣 職 員 給 諸 費	二、二二七圓
第一項 俸 給 諸 費	一、五八四
第二項 廳 業 費	六四三
第九款 勸 業 費	三、三七五
第十二項 水 產 試 驗 場 費	二、四〇五
第十四項 產 業 獎 勵 費	一四〇
第十五項 出 經 常 部 計	八三〇
歲 出 臨 時 部 計	五、六〇二

第四款	勸業費	五、九六四圓
第一項	勸業補助費	五、九六四圓
第十二款	勸業補助費	四、一〇〇圓
第一項	勸業補助費	四、一〇〇圓
第二十一款	風水害復舊施設耕地事業費本年度支出額	△二〇七、二二九
第一項	風水害復舊施設耕地事業費本年度支出額	△二〇七、二二九
第三十一款	自作農創設維持獎勵資金繰入金	△ 一三〇
第一項	自作農創設維持獎勵資金繰入金	△ 一三〇
第四十七款	雜出	三、五三七
第一項	過年度追拂	二、八二〇
第二項	過年度過納下戻金	六二〇
第三項	過年度返納金	九七
歲出臨時部計		△一九三、七五八
歲出合計		△二八八、一五六
昭和十三年度特別會計自作農創設維持獎勵資金歲入歲出更正豫算書		△印 減高

第四款	繰入金	△ 一三〇圓
第一項	一般會計繰入金	△ 一三〇圓
歲入合計		△ 一三〇圓
第三款	雜出費	△ 一三〇圓
第一項	雜出費	△ 一三〇圓
歲出合計		△ 一三〇圓

◇鳥取縣告示第六百八十四號
鳥取倉吉財務出張所管内ニ於ケル左記ノ者縣稅檢査章返納並交付セリ

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取財務出張所管内

區分	年 月 日	番 號	役 場 名	職 名	氏 名
返納	昭和十三年十一月五日	第二五號	岩美郡本庄村役場	書記	言水賀壽雄
交付	昭和十三年十一月五日	第二五號	同	同	西垣好雄

倉吉財務出張所管内

00669

區分	年 月 日	番 號	役 場 名	職 名	氏 名
返納	昭和十三年十一月一日	第五〇號	東伯郡上中山村役場	書記	奧田正信
交付	昭和十三年十一月七日	第六三號	同	同	林原弘

鳥取縣告示第六百八十五號

昭和十三年十一月十八日左記ノ者ニ對シ動力糶摺業免許證ヲ下付セリ
昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

免許證 番 號	住 所	氏 名
一、一 六 四	氣高郡逢坂村大字下石一四二番地	角 田 繁 藏
一、一 六 五	氣高郡小鷺河村大字河内一八二番地	國 森 一 郎
一、一 六 六	西伯郡成實村大字奥谷七五四番地	佐 藤 重 壽
一、一 六 七	東伯郡淺下津村大字下淺津二四八番地	山 田 佐 二 郎

鳥取縣告示第六百八十六號

熊本市本莊町字居屋敷六八番地本莊共葬墓地ノ一部ハ都市計畫道路擴築工事ニ伴ヒ道路敷トナルニ依リ該當地域内ノ墳墓ハ昭和十三年十二月二十日迄ニ熊本市役所ニ承合ノ上移轉ノ手續ヲナスベシ

00670

右期日内ニ移轉ノ手續ヲナサザル者ハ無縁ト認メ熊本市ニ於テ適宜移轉合葬スル旨照會アリタリ

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

鳥取縣告示第六百八十七號

鳥取縣農產物検査所規程左ノ通之ヲ定ム

昭和十三年十一月十八日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

- 第一條 農產物検査所ハ農產物検査及農產物ノ指導獎勵ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 農產物検査所ハ鳥取市ニ置キ必要ト認ムル地ニ出張所及派出所ヲ置ク
出張所及派出所ノ位置名稱及所管區域ハ別ニ之ヲ告示ス
- 第三條 農產物検査所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 所 長
- 地方農林技師
- 農林主事補
- 農林技手
- 農產物検査員
- 農產物生産検査員
- 農產物検査員補
- 農產物検査助手

- 第四條 検査事務ヲ督勵セシムル爲督勵員ヲ置ク
 - 第五條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス
 - 第六條 地方農林技師ハ所長ノ指揮ヲ承ケ所務ニ從事ス
 - 第七條 農林主事補ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務並會計事務ニ從事ス
 - 第八條 農林技手、農産物検査員及農産物生産検査員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ農産物検査並農産物ノ指導獎勵ニ關スル事務ニ從事ス
 - 第九條 農産物検査員補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ農産物検査事務ニ從事ス
 - 第十條 農産物検査助手ハ上司ノ指揮ノ承ケ農産物検査事務ヲ補助ス
- 附 則
- 第十一條 本規程ハ昭和十三年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス
 - 第十二條 昭和四年四月鳥取縣告示第九號鳥取縣穀物検査所規程ハ之ヲ廢止ス
 - 第十三條 本規程施行ノ際現ニ穀物検査所ニ在職スル者ハ本規程ニ定ムル職員ト看做ス
 - 第十四條 昭和四年四月鳥取縣告示第十五號鳥取縣穀物検査所、同出張所、同派出所ノ位置、名稱及其ノ所管區域ハ本規程ニ依リ定メタルモノト看做ス

彙 報

- 十一月十六日發行「週報」並ニ「寫眞週報」掲載内容左記ノ通
- 一 支那共産軍の實情 (陸軍省情報部) (海軍省海軍軍事情報部)
- 一 股賑産業勞務者の 銃後生活刷新運動 (厚生省) (外務省情報部)
- 一 岳州攻略戰 (陸軍省情報部)
- 一 敵空軍激減戰成る (海軍省海軍軍事情報部)
- 一 顛落蔣政權の動向 (外務省情報部)
- 一 寫眞週報「第四十號」掲載内容

- 一 戰捷祈願予リレ
- 一 日獨伊防共協定一周年記念國民大行進式
- 一 隻脚に踏む更生のベタル

- 一 漢口ニ拜す明治節
- 一 公休日を御破算
- 一 讀者のカメラ

昭和十三年十一月十二日 鳥取縣總務部統計課

本縣ニ於ケル本年十月末日現在ノ米第二回豫想高ハ七十萬六千五百九十石ニシテ之ヲ九月二十日現在ニ於ケル第一回豫想收穫高ニ比スレバ二千二百四十石(三厘)ノ増加ヲ示セリ。

蓋シ右ハ第一回豫想後ニ於ケル天候概本順調ナリシト病虫害及九月上旬ニ於ケル風雨ノ害モ割合ニ輕微ナリシトニ依リ登熟良好ナルヲ得前記ノ如キ收穫ヲ見ルベキ豫想ナリ

而シテ之ヲ前年實收高ニ比スレバ一萬百三十六石(一分五厘)ヲ前五ヶ年平均實收高ニ比スレバ三萬二千八百七十三石(四分九厘)ヲ各増加セリ

尙參考ノ爲最近五ヶ年間ニ於ケル實收高ヲ掲グレバ左ノ如シ

年	實 收	高	自昭和八年	昭和十三年
昭和八年	同十年	六二一、三五五石	至同十二年	第一回豫
七四九、七三一石	同十二年	六九六、四五四石	五箇年平均	想收穫高
同九年	同十一年	七二一、九八〇石	六七三、七一七石	七〇四、三五〇石
五七九、〇六六石	七二一、九八〇石	七〇四、三五〇石	七〇六、五九〇石	第二回豫
				想收穫高

正 誤

七月二十九日附發行公報第九四九號登載鳥取縣告示第四百二十三號中湖山村ニ村上源藏トアルハ上出源藏、淀江町ニ吹野鉄一郎トアルハ吹野鉄四郎ノ誤植ニ付訂正ス